

先輩移住者の
新しい暮らし

初めての秋田市暮らしは仕事も遊びも大忙し。
「ずっとここに住みたい！」



秋田市暮らしの、
はじめかた。

井手内さんの場合

STEP
1

秋田のチームとの契約を機に、秋田市の相談窓口につながりました。

新しく秋田のチームとの契約を結び、引越しが決まったので、まずは、秋田市の相談窓口につながりました。

STEP
2

移住相談センターに足を運んだり、移住者のイベントに参加しました。

JR東京駅近くにある移住相談八重洲センターに行き、移住補助金の申請について教えてもらいました。また、移住者イベントにも参加して実際に移住者の方のお話を聞くこともできました。

井手内 晴さん

Profile

- 千葉県から移住
- 30歳
- 東京都出身
- アランマーレ秋田所属スポーツトレーナー、鍼灸師

旅行で訪れた時に感じた、 のどかであたたかい魅力が決め手に

スポーツトレーナーとして千葉県のラグビーチームで働いていた私は、契約満了を機に次のステージを探していました。いくつかの候補がある中で、秋田を選んだのには、忘れられない体験があります。

以前、オーストラリアに留学していた際、一番仲良くなったのが大潟村出身の女の子。移住の話が持ち上がるずっと前に、彼女を訪ねて秋田へ旅行したことがありました。軽トラで迎えに来てくれた友人と、果てしなく続く農道を夏の風に吹かれながらゆっくり走ったあの瞬間。関東で生まれ育った私の心を、スーッと洗い流してくれるようでした。食べものも驚くほど美味しく、あっという間に秋田の^どろこに。だから、アランマーレが新しいトレーナーを探しているという話を耳にした時、「秋田で暮らせたら最高!」と思ったのです。

移住を決めてからは、ただ引っ越すだけでなく秋田と深くつながりを持ちたいと思い、自ら秋田市の担当課などに連絡を取りました。関東に住んでいながら移住者の体験談を聞けるイベントがあったり、会員登録をすれば役立つ情報が次々と届くのでありがたかったです。些細な質問にも丁寧に答えてもらえ、準備段階からすでに秋田の人たちの温かさをしっかりと感じていました。



海も山もイベントも… 行きたいところばかりで毎週末大忙し!

秋田に来てから1年、移住者の中でもトップクラスに入るくらい、たくさんの場所へ行った自信があります(笑)。竿燈、大曲の花火、田沢湖スキー場、乳頭温泉、湯瀬温泉…一人キャンプを覚え、花輪線に乗ってのんびり電車旅も満喫しました。きりたんぼと比内地鶏の美味しさには本当に感動して、思わず離れて暮らす家族にすぐ送ったほどです。

秋田は毎週末、県内のどこかでイベントが開かれています。規模は小さくても地元の方が一生懸命盛り上げるマルシェや、若い人たちが秋田の未来を楽しく切り拓こうとするイベント…おかげで毎週スケジュールがいっぱいで、嬉しい忙しさです。

苦勞したことは、正直それほどありません。雪国暮らしは初めてで覚悟してきましたが、今年の冬は周りの方々のサポートもあり、雪かきに手を焼くこともなく乗り越えられました。雪道で車線が見えなくなるのは、少しドキッとしますね。

人とつながるのが好きな方にとって、秋田は最高の場所です!自分から動けば、どんどんご縁が広がります。雨曇りが多い分、晴れた日のテンションは格別。海も山もすぐそこにあって、美味しいものもたくさん。秋田に来られて、本当にラッキーだと思っています。

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

自然が豊かで
イベントもたくさん!

海や山が近く、地域のイベントも意外と多いです。レトロな電車に乗ったり、ご当地のグルメ巡りをするのも楽しい。次はどこに行こうかな?とワクワクさせてくれる場所です。

苦勞したところ

雪道運転は、
まだ少し怖い…!

人生で初めての雪国暮らし。雪道の運転には慣れるまでもう少し時間がかかりそう。雪が積もって車線が見えなくなるのが怖いですね。